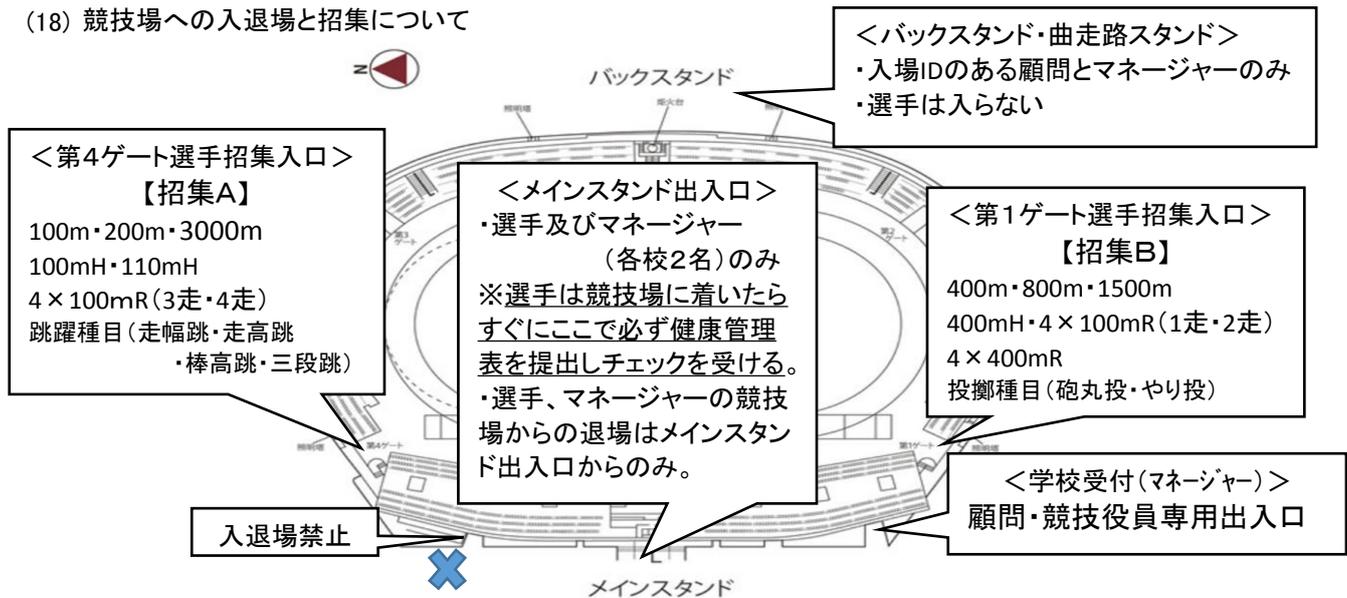


# 競技注意事項

## 1 コロナウイルス感染拡大防止対策

- (1) 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各学校の陸上競技部顧問、競技役員、選手、マネージャー(高校生・中学生/2名まで)とする。競技場へ入場する人は全て体調管理表の提出が必要となる。  
※本大会1週間前から「大会前・提出用 体調管理表」(私学祭HP参照)を記入し、持参する。
- (2) 競技場に到着した選手は、メインスタンド出入口・マネージャー、学校顧問及び競技役員は、学校受付で体調管理表の提示と検温を行う。このチェックを受けなければ本競技場、北陸への入場や招集を行うことができない。
- (3) 個人及びびり種目に出場する選手は、出場種目毎の体調管理表を準備する。
- (4) 学校の顧問も学校受付で体調管理表の提出が必要となる。その時、入場IDを配布する(審判の先生は審判員証でよい)ので競技場の入退場に使用する。競技場への入場は顧問・競技役員専用通路のみとする。
- (5) 大会当日に発熱などの症状により大会に出場できない場合は、本部の棄権届を記入し、提出する。その他の理由で出場できない場合も必ず棄権届を提出する。
- (6) 大会後の2週間についても「大会後・自己管理用 体調管理表」(私学祭HP参照)を記録する。
- (7) 選手は出場する種目の競技開始2時間前から競技場(北陸含む)への入場を認める。  
また、競技が終了したら、スタンドには寄らず、速やかにメインスタンド出入口から競技場を出る。
- (8) 選手は正面スタンドの学校ごとに割り当てられたエリア(私学祭HP参照)のみ利用することができる。  
荷物置き場としての利用のみとし、留まらないこと。競技場内外ともにテントは設営しない。横断幕は設置しない。
- (9) 選手は招集後の待機場所に荷物をまとめるためのビニル袋(40cmサイズ以上)を各自で用意する。
- (10) 新型コロナウイルス対策のため各自で出したごみは必ず持ち帰る。清掃当番校の割り当てはなし。
- (11) 競技場周辺の公園での練習等は絶対に行わない。(バックスタンド裏、野球場周辺など)
- (12) 声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (13) ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、三密を避ける。
- (14) 更衣室について
  - ①本陸1階北側の更衣室を2カ所(男女)を女子更衣室とする。男子の更衣室は雨天走路に設営する。
  - ②北陸の更衣室は男女ともに使用しない。シャワーの使用はできない。
- (15) 雨天走路は控室や練習場所としての利用は禁止する。なお、100m、200m、100mH、110mH、3000m、4×100mR(4走)の競技を終えた選手の荷物を取りに戻る帰路として利用する。
- (16) 記録の掲示はしない。プログラムに記載されているQRコードよりWEB速報を見て確認する。
- (17) 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルス感染予防に努める。
- (18) 競技場への入退場と招集について



### (19) 招集について

- ①招集A/Bへは競技場内から行くことはできない。競技場の外から指定されたゲートより入場し、招集を行う。
- ②トラック種目は招集A(第4ゲート)と招集B(第1ゲート)の指定された種目の招集(体温チェック+チェックシート提出)を行う。
- ③フィールド種目は、指定されたゲートより入場(体温チェックのみ)し、現地で招集(チェックシートの提出)する。
- ④ハンマー投及び円盤投げは、北陸で開催されるため北陸での現地招集とする。
- ⑤体調管理表の提出がなければ競技会への出場は認めない。
- ⑥招集の際は、自分の荷物を全て持ってくる。競技中は各競技ごとに指定された場所に荷物を置き(袋準備)、競技終了後はメインスタンド出入口より速やかに競技場から出る。

## 2 競技会全般に関して

- (1) 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則に則って行う。  
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。
- (2) 各校引率教員は、競技開始30分前までに学校受付を完了する。この時、顧問に入場IDを配布する(審判の先生は審判員証でよい)。また、棄権する選手がいる場合は棄権届を提出する。
- (3) 選手の変更は認めない。
- (4) ウォーミングアップについて  
競技場内への入場(本陸・北陸)は、競技開始2時間前から可能とする。
  - ①本競技場
    - ・ 競技開始15分前まで、練習可能とする。
    - ・ 競技会準備の妨げにならないようにすること。
  - ②北陸上競技場
    - ・ 本陸のメインスタンド出入口で検温と体調管理表に検印をしてもらい、IDとして活用する。
    - ・ 競技役員の指示に従って利用する。
    - ・ 終了時刻は、最終種目招集開始時刻とする。
    - ・ 跳躍練習、投擲練習は実施できない。
  - ③レクリエーション広場
    - ・ 使用しない。
  - ④本陸上競技場雨天走路
    - ・ 使用を禁止する。なお、シートなどによる障地の設置も禁止とする。
- (5) 表彰について
  - ①各種目3位までの入賞者は、賞状及びメダルを授与する。4～6位は賞状を授与する
  - ②表彰式は、実施しない。
  - ③最優秀選手賞に選ばれた選手にトロフィーを授与する。【男女(トラック・フィールド)各1名、合計4名】
- (6) 写真及びビデオ撮影について  
肖像権等の法に触れる行為に関して、個人で記録したものを無断でネット上にアップロードしたりしない。
- (7) アスリートビブス(ナンバーカード)について
  - ①規定のものを、胸部・背部に必ず固定する。
  - ②跳躍競技は、いずれか一方のみでもよい。
  - ③腰ナンバーカードは、セパレートレーン種目(100m~400m・障害)では使用しない。オープンコース種目(800m~3000m)で使用する。
- (8) 使用器具について
  - ①原則として競技場備え付けのものを使用すること。
  - ②棒高跳における「ポール」については私物を使用してもよい。
  - ③スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。  
いずれの場合も本数は11本以内とする。
  - ④WA 規則第143条(TR5:シューズ)のルール再改訂における本大会での適用について  
本大会は、移行期間中の大会であり、標記の規則を適用せず実施する。ただし、標記規則における適用外シューズをしようする競技者は、招集の際に、「適用外シューズ使用」を口頭で申告する。同時に、シューズを持参し、競技者係のチェックを受ける。記録は国内の公認記録として認められる。ただし、申告及びチェックを怠り、競技に参加した選手がいる場合、全員の記録は、WAの記録としては無効とされる場合がある。  
**※800m以上のトラック競技において靴底の厚さ(25mmを越えたら申告)をチェックする。**

- (9) 招集時間について
  - ・ 招集で体調管理表を提出する。提出がなければ、競技会への出場を認めない。
  - ・ トラック種目は競技開始30分前から指定されたゲートより入場し、指定の招集所で招集を行う。
  - ・ フィールド種目は競技開始60分前から指定のゲートより入場し、現地で招集を行う。
  - ・ 棒高跳びは競技開始80分前から指定のゲートより入場し、現地で招集を行う。
  - ・ **リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに招集所(第1ゲート)に提出する。**
  - ・ 各競技や競技の組ごとに指定された招集時間に遅れた選手は棄権とみなし、その種目の出場を認めない。
  - ・ 北陸上競技場で行われる競技の招集は北陸上競技場の現地で招集を行う。

競技	種目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
フィールド競技	棒高跳以外の種目	60分前	40分前
	棒高跳	80分前	60分前

- (10) 今大会のトラック種目及びフィールド種目の実施方法について

- ①トラック競技
  - ・ 全てタイムレースとする。
  - ・ トラックの計時は、全て写真判定装置を使用する。
  - ・ レーンで行うトラック競技は、欠場者のレーンは空ける。800m以上は、競技役員の指示に従う。
  - ・ 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走る。
- ②フィールド競技
  - ・ 全てトップ8を実施する。
  - ・ 競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ・ 投擲競技の計測は、光波測定器を使用する。(運営上の問題で変更する場合がある。)
  - ・ 走高跳を除く跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用することができる。走高跳の競技者は各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を助走路内に用意することができる。
  - ・ 段跳の踏切版は、砂場から男子12m、女子10mの地点に設置する。
  - ・ 男女ハンマー投及び円盤投げは、北陸上競技場で実施する。招集も北陸上競技場で行う。

・走高跳・棒高跳について

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m60/1m80/1m90	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m95まで5cm 以後3cm
女子走高跳	1m30/1m50/1m60	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m65まで5cm 以後3cm
男子棒高跳	3m50/4m50/5m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	以後10cm
女子棒高跳	2m00/3m00/3m50	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	以後10cm

・練習はいずれかの希望する高さで行う。

・第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

(11) その他

①競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似品の危機を競技場内で所持または使用することはできない。

②競技者は競技場所から勝手に離れることはできない。(競技規則第144条3(b)・4)

③抗議は、競技規則146条によって定められた時間内(結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする)に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて Jury に「抗議申立書」で申し出る。

④不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によって当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

⑤開門時刻は、8時00分と定める。私学委員及び準備な部署の入場は、7時00分とする。